

令和6年度営農者向け鳥獣被害アンケート 結果報告

令和7年2月実施 浪江町役場農林水産課

目次

・アンケート概要	1
・獣種・地区別被害件数	2
・月別被害件数	3
・被害金額に関する結果	4
・その他 対策したい鳥獣と実施したい対策	5
・自由回答①	6
・自由回答②	7
・課題に対する対策提案	8

アンケート概要

○目的

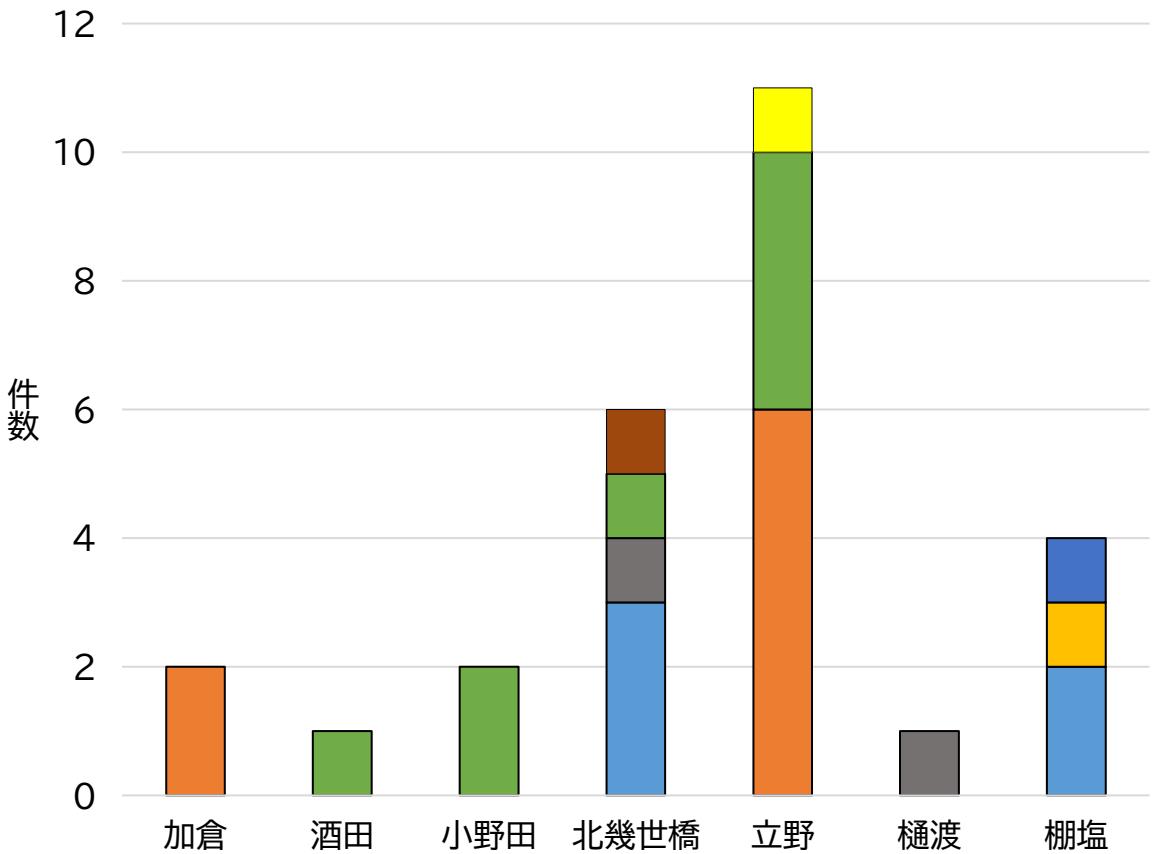
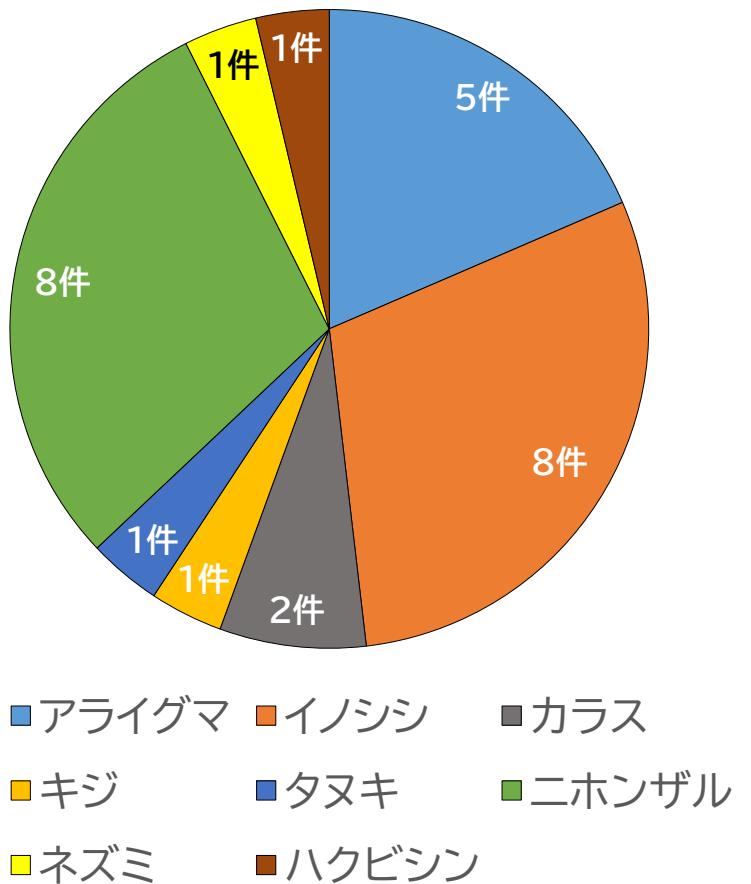
町内の鳥獣被害の実態調査、被害に対する対策の検討、得られた情報の町民への共有を目的として、町内の営農者を対象にアンケートを実施した。

○方法、対象者

- ・町内で農地担い手として令和6年度時点で登録されている方または事業者
45/113名回答(回答率40%)
- ・対象者にアンケートを返信用封筒付きで送付
(回収期間:令和7年2/4~2/19)

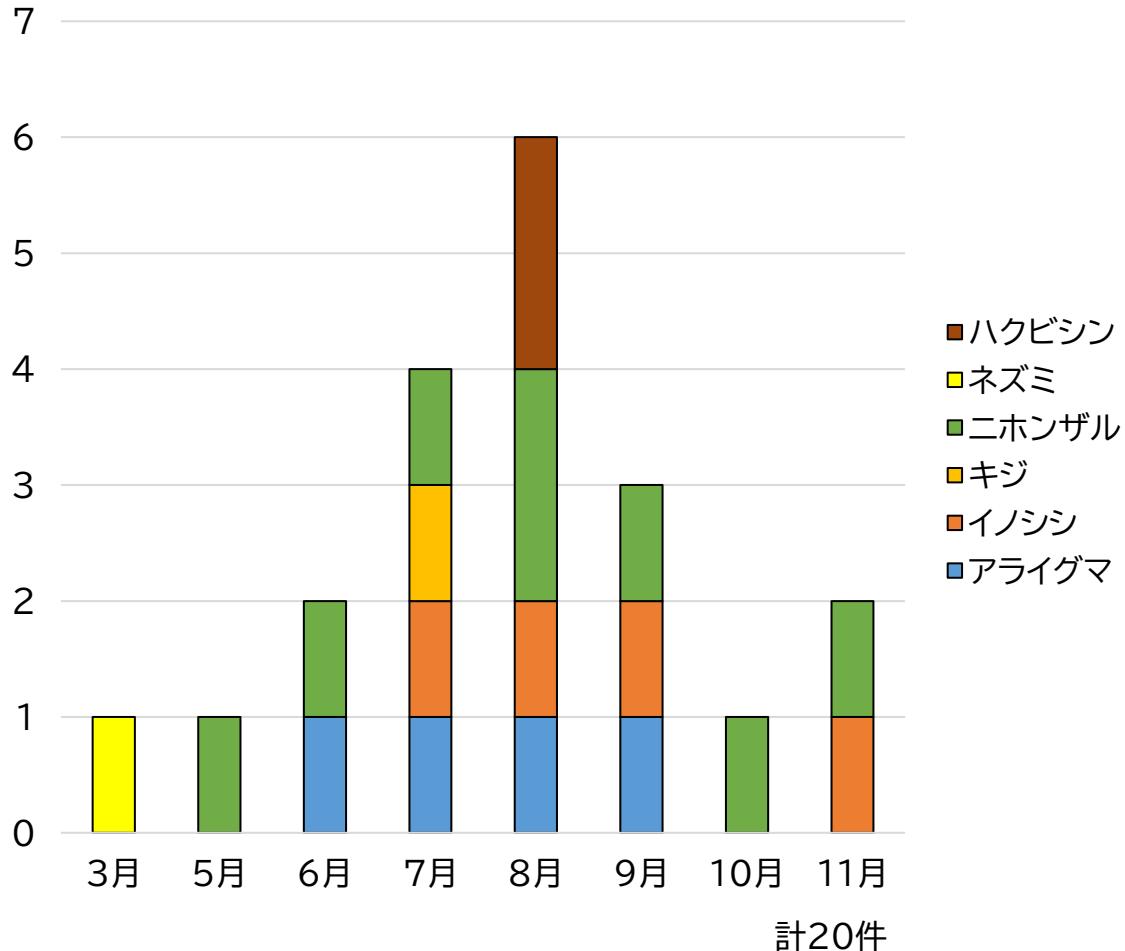
獣種・地区別被害件数

※複数回答可



被害件数はイノシシ、ニホンザルが多いが、多獣種で被害報告が確認されている

月別被害件数



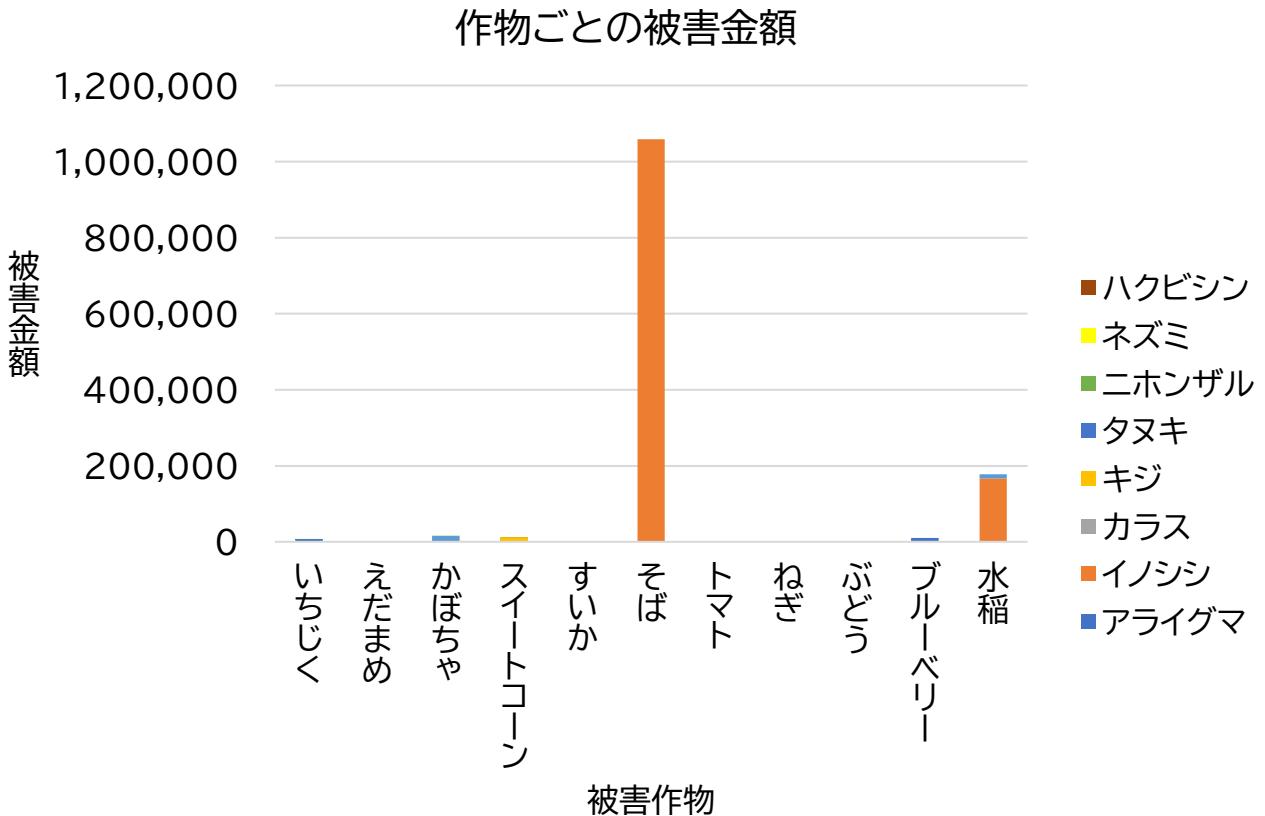
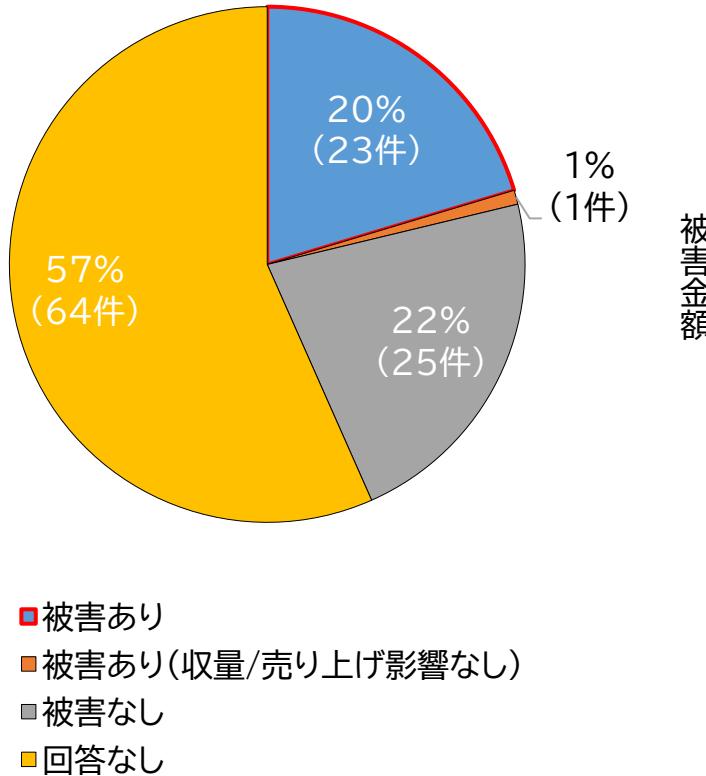
参考:被害作物一覧 計20件

作物	鳥獣種	被害月
ブドウ	ネズミ	3月
ネギ	ニホンザル	5月
ネギ	ニホンザル	6月
ブルーベリー	アライグマ	6月
ネギ	ニホンザル	7月
ブルーベリー	アライグマ	7月
水田(畦畔被害)	イノシシ	7月
トウモロコシ	キジ	7月
ネギ	ニホンザル	8月
トウモロコシ	アライグマ	8月
トウモロコシ	ハクビシン	8月
水稻	ニホンザル	8月
水田(畦畔被害)	イノシシ	8月
トマト	ハクビシン	8月
イチジク	アライグマ	9月
水稻	イノシシ	9月
水稻	ニホンザル	9月
水稻	ニホンザル	10月
イチジク	ニホンザル	11月
ソバ	イノシシ	11月

※作物名が不明なものは除外

7~9月の被害に集中しており、夏野菜や水稻を中心に収穫前の被害が散見される

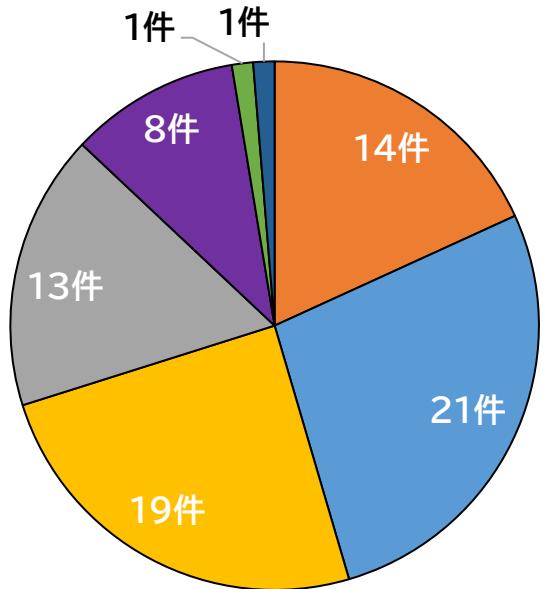
被害金額に関する結果



※被害面積から福島県の災害用単価を基準に算出し、自家消費用、獣種不明の被害は除外した。

約半数から被害報告があったが、被害金額としては、大規模生産のそば、水稻が抜け突出している。食害はないが、倒されることで収穫ができなくなる被害が発生している

対策したい鳥獣種

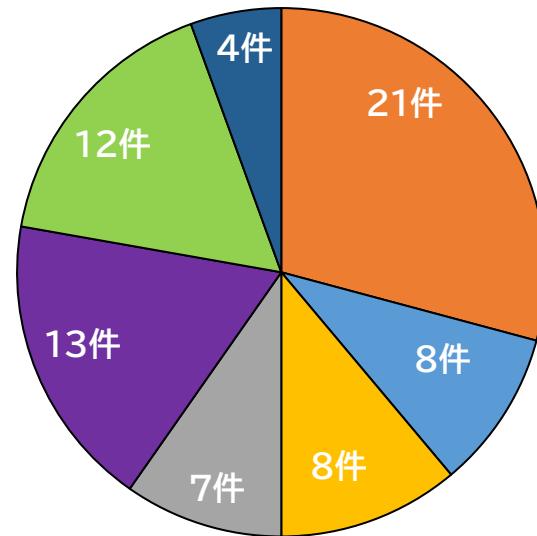


- ハクビシン
- イノシシ
- ニホンザル
- アライグマ
- タヌキ
- カラス
- キジ

対策したい鳥獣種

イノシシ・ニホンザルが多いが、それ以外の獣種も多く挙げられており、被害の多様化が伺える。

実施したい対策



- 薮刈
- 勉強会
- 追払い
- その他
- 誘引物の除去
- ニホンザル位置情報特定
- 捕獲

実施したい対策

薮刈と追い払いが実施したい対策として多く挙げられた。

自由回答①

個人で行っている対策に関して町に要望したいこと

- ・鳥対策をお願いします。
- ・防鳥網や防獣網の購入補助金をお願いします。
- ・ワイヤーメッシュ・電気柵などの下部の草刈の対策・ドローンによる除草剤散布(自前で)
- ・電牧の設置
- ・これから行うのでどのようになるか不明であるが、空き家やそこに植栽されている果樹、また林化した所等は個人では難しいので、地権者さんや家主さんへの管理要請等のパイプ役をお願いしたい。
- ・サル等に不妊治療薬の投与は出来ないのか。国に対して鳥獣被害の軽減のため法改正要望は出来ないか。
- ・今後、デントコーン等を検討しているが、助成金等があれば情報を頂きたいです。
- ・営農(花卉栽培)においては特に被害は無い(今のところ)休憩所のカラスによる被害程度(防鳥ネット設置)特に要望は無い。
- ・あまり水路をいじってもらいたくない。子供の教育に力を注いでいる。
- ・小動物の進入口(メッシュ柵)下を塞ぎ、園の周囲全部赤外線カメラ(センサー付)でスマホに送る。
- ・個人で行っている対策。ラジオ(携帯)鳴らして被害防いでいる。
- ・アドバイスや捕獲器等の取得に補助等を考えてもらえば幸いかと思います。
- ・ワイヤーメッシュの点検と維持管理法・電気柵の点検と維持管理について。
- ・農研機構などで検討し効果が出ているものがあると聞いています。情報のシェアを頂ければうれしいです。
- ・まだ自身では行ってないので情報の提供をお願いします。

※加筆修正なく記載

自由回答②

鳥獣被害について気になる点があればご記入ください

- ・果実なので今後状況に合わせて対策を考えています。
- ・はぐれサルが時々来る。
- ・これから作付けするので、どの様な被害となるのかは不明だが被害予測図があると助かります。農作ヶ所だけでなく、家庭内ゴミ集積所の破損があるので心配です。
- ・狩猟者の確保(育成・教育)資格所得に向けた取り組み。被害状況を都度更新、共有できるように対策、講習会実施。
- ・サルによる水稻被害の情報があれば教えてください。
- ・鳥害対策で網で収穫時期のみ被害防止策と支援。
- ・サル対策。
- ・農地周辺の「たけ藪」の適正管理支援について。
- ・熊が出るときは知らせていただきたい。
- ・人間なので動物に負けないように山に木々を植えて里に下りてこないように共存して行ける対策も欲しいところです。
- ・2024年は2~3頭で行動をするサルが多かった。大きい群れで行動していれば気づいて花火で追い払いできたが、今は気づかないうちにサルが田んぼに入り被害が出ている。
- ・ニホンザルと町民の住み分けに向けての対策として音響による追い払い反射ポール設置(被害の農地)増加するニホンザルの捕獲(箱罠の増設)全国の地公団の成功例教授、害獣専門業者から学ぶ。
- ・電気柵外側の畦畔部がイノシシの被害にあっている。室原地区からの加倉主用水路畦畔部が被害にあっている。用水路内に土砂等が入り込んでいる。

※加筆修正なく記載

課題に対する対策提案

○大規模栽培では、過去の被害箇所を思い出してみましょう。

→広大な面積を100%守ることは難しいですが、出没の傾向が分かれば一部の柵設置等でも一定の効果が見込めます。

○小規模栽培では、被害作物と獣種に合わせた対策を実施しましょう。

→農作物ごとや、獣種ごとに応じた町内の被害対策を以下に記載しております。ご参照ください。

<https://www.town.namie.fukushima.jp/soshiki/29/39189.html>



○ニホンザル対策が必要なエリアか確認しましょう

→ニホンザル対策マップを作成しましたので、ご確認ください。また、ニホンザル対策は、人慣れさせないための追い払いが必須です。ニホンザル対策マップ内に町内の対策事例も掲載しておりますので、参考にしてください。また、追い払い花火も町で引き続き配布いたしますので、役場までお問合せください。

<https://www.town.namie.fukushima.jp/soshiki/29/34129.html>

